

町のうき 広報

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1. 42. 135
編集・企画室 印刷・一日市印刷 TEL(018875) 2038

町 <u>のうき</u>	
本籍数	4,562
本籍人口	14,844
世帯数	3,434 (3,426)
住民登録人口	13,620 (13,615)
内 男	6,593
女	7,027
2月1日現在	
()は内1月1日現在	

第二回目の婦人集会

生活を守ろう

分科会、パネルディスカッションでも活発に

町公民館、農協、婦人団体連絡協議会では、二月八日に二回目の「婦人集会」を町公民館で開催した。

これは、現在のめまぐるしく変化する社会環境のなかで、生活を守り、生活を高めていくという生活者意識を育て、婦人団体の今後のあり方を求めようという行なわれたもので、当日は、婦人会員、学級生、農協婦人部などから約百五十人が参加した。

まず、事例発表が行なわれ、更生保護婦人会の鈴木千代氏、農協婦人部の藤原敬子氏、羽立生活学級の菅生節子氏、天王家庭教育学級の児玉鉄子氏が、それぞれの立場から、いままで活動してきた内容、今後に残された問題などを発表し、分科会に移った。

分科会は「冠婚葬祭を中心とした生活の合理化」「消費生活の合理化」「青少年の健全育成の問題」「婦人団体のあり方」の四つに別れ、それぞれのテーマに添った問題が提起され、各

分科会の助言者からのアドバイスを受けて全体会で討議、各問題を集約した。

このあと「生活の合理化を図るための婦人団体の活動のあり方」と題してのパネルディスカッションが行なわれた。

男鹿普及所の永瀬千賀子氏は「農村社会の変動と生活課題生活の近代化と生活環境、地域社会のグループ活動——農協の大関みき子氏は——生活の共同化、計画化、適正化——を具体的に述べ、また、農協婦人部長の加賀谷貞子氏は——婦人文庫の利用、婦人部そなえ付けの冠婚葬祭用の式服利用、家庭経済の健全化……——町公民館の水戸瀬馨氏は——新しい農家主婦の生活、徹底したグループ活動——など、話し合いこそ現実の

くらしに密着した学習である、と強調。児玉生活学級の児玉優子氏は——意欲のある子どもを育てるために、母親がもたなければならぬ主体性とは何か——を追求した。

引き続き、参加者たちとの盛んなディスカッションが展開され、婦人団体の強化はもちろん、青少年問題、今後の活動など意欲的な話し合いが続けられた。



▲「生活の合理化をすすめる婦人団体のあり方」についてのパネリストの発表にも真剣に耳をかす参加者

一千四百八十 九万円を追加

臨時町議会開かる

ことし初めての臨時町議会が二月十日に開かれ、上程された二案件を原案どおり可決して、同日閉会した。

【一般会計補正予算】

今回、一般会計に補正された額は、一千四百八十九万三千円である。これによって、四十六年度の歳入歳出総額は、四億七千七百九十四万九千円となった。

主なものは、湖岸地区福祉センター建設用地造成工事費の一千三百九十九万四千円。ダンプトラック用の車庫建設による工事費八十二万五千円などとなっている。

【寄付採納願いについて】

秋田市金足追分の小野又雄氏から、追分分館と乳児保育所建設地の通路として二百八十七坪の寄付の申し出があり、これを採納した。

高校生 月額五千元以内

大学生 月額一万元以内

◎貸与金の返済(元金のみ)

高校生 卒業後一年据え置き

以後五年の均等月賦払い

大学生 卒業後一年据え置き

以後六年の均等月賦払い

◎提出書類

イ、奨学金の貸与額

ロ、奨学金貸与生推せん調書

ハ、親権者家計調書

ニ、保証人家計調書

◎提出期日

昭和四十七年三月十五日

※詳細については、町教育委員会にお問い合わせください。

初の貸与生を募集

育英会が業務開始

天王町育英会では、次のとおり四十七年度の奨学金貸与生を募集しています。

これは、経済的環境にめぐまれないため、進学を断念している方々に愛の手を差し伸べようというものです。

希望者は、三月十五日まで、町教育委員会に申し込んでください。

◎募集人員

高校およびこれに準ずる学校の新入学者並びに在学者。大学およびこれに準ずる学校の新入学者並びに在学者。

高校は十名以内、大学は三名以内となっています。

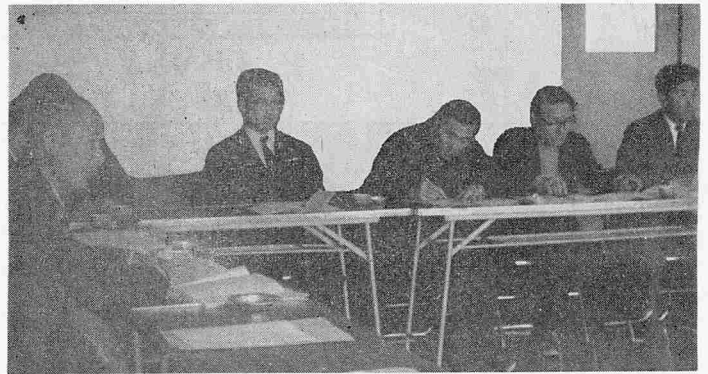
◎応募資格

本町に二年以上居住し、学術品行ともに良好で、学費の支弁が困難と認められるもの。

◎貸与金額

工業高校誘致に全力

◆県立工業高校誘致期成同盟会を結成◆



▲誘致期成同盟会の設立総会

二月九日、町公民館で町長、議会議長、同議長、教育委員長など十八名が出席し「天王町県立工業高等学校誘致期成同盟会」の設立会議を開催、同会が結成された。

もれなく申告を

期限は三月十五日です

二月十六日から、町、県、国税の「所得申告」について、その指導と相談にあたり、同時に納税義務者の皆さんから申告をしていただいております。

ご承知のように申告をしないという、特別控除やその他の控除がされないで、非常に不利となります。申告は女の人にもできます。あなたの税金はあなたが決めて

また、誘致場所は追分駅から一kmの追分小学校西側にあたり面積二万坪を予定している。当日は、同会の会則を原案どおり可決したあと会長に町長の藤原慶三郎氏、副会長には議長の京谷仁太郎氏と教育委員

会活動などで活発に

三回目の青少年健全育成大会

青少年健全育成大会が二月十七日の日曜日、町公民館に青少年協委員、育成会、親の会、校外指導員など関係者多数が出席して行なわれた。

この大会は、青少年の健全育成運動の現状と課題を集約するとともに、非行の広域化に伴って補導体制を強化しようとして行なわれているもので、今回で三回目を数える。

会では、まず先に募集していた「家庭の日」の作文コンクールの入賞者の発表と、特に青少年育成に活発な活動を行なった優良団体を表彰した。

事例発表では「私たちは、こんな活動をすすめてこんな成果をあげて努力している。」と、四十七年度の評価額がいくらかであるか、自分の土地、家屋について知りたい方は、三月一日から三月二十日まで、役場税務課で関係台帳を閲覧することができます。これが台帳縦覧制度です。

この制度は、固定資産課税の根拠となっている評価額を納税通知書発送前に、納税義務者に公開、展示することによって理解ある納税を促進し、同時に、台帳に誤載などがあった場合は町固定資産評価審査委員会で審査されるものです。

縦覧して、自分の評価額や記載事項に誤りがないか確かめてください。

今回から七回にわたって「家庭の日」作文コンクールで入選をした作品を紹介します。

ぼくのうちは、おとうさん、おかあさん、おばあさん、いもうとのかずえとぼくの五にんのかぞくです。

おとうさんはやくしよへ、おかあさんとおばあさんは、うちでぎゆうにゆうのおしごとをしていますから、あさからばんまで、みんなおおいそがしです。ぼくが一年生になってから、

「家庭の日」作文コンクール

入選作品 ①

追分小一年 ほそや たたとし

やっつだい三の日ようびが、かていの日になってることを、おとうさんからききました。かていの日は、おうちにいるみんなが一日をおうちで、たのしくすごすこともありますが、まぢで、なにかもよおしものがあつたときは、かぞくでさんかして、みんなでなかよくして、いことをおしえられまして、ぼくのうちは、ぼくをいれて、みんなでいっしょに、こんどはどんなことをするかきめます。うらの山へ、おにぎりやおかしをもつて、あそびにいって

水ぞくかんには、よそのおとうさん、おかあさんやぼくたちとおなじくらいの、おともだちが、たくさんいました。きつとぼくのうちとおなじく、かていの日をたのしんでいるのだと、おもいました。

「ぎょうは、たのしかったね。こんどかていの日には、どんなことを、しようかな」と、おばあさんが、かえりのくるまの中でした。

(原文のまま)

【募集要項】

一、16歳から25歳までの入寮の可能な女子社員 百名募集
一、採用者には準備金一百万円支給
一、給与は年齢給で本採用後は16歳で 二万七千九百円
25歳で 三万八千三百円

女子社員を募集

秋田電子KKで
アキタ電子は、天王町に誘致された工場で、皆様のご協力のもとに発展の一途をたどり、ただいま「女子社員」を募集して

四十一名が優秀賞

良質米生産者ほう賞

このほど、昭和四十六年度産米の上位等級米生産者ほう賞制の審査結果がまとまり、四十一名が優秀賞を受賞。二月十五日に町公民館で表彰式を行なった。

これは、町良質米生産対策協議会が、天王産米の銘柄確立と生産者米価の等級間格差の拡大に対応する対策の一環として昨年実施したもの。

審査は、十二月現在で百俵以上の政府売り渡し農家を対象に審査したが、上位等級米の比率が四十一名いたため、比率100%全農家に優秀賞を贈った。

また、部落別にみた上位等級割合は、羽立が売り渡し一萬

優秀賞を受賞した方々は次のとおり。

【二田】 大関治助、渡部良蔵、大関竹松、佐藤鉄之助

【羽立】 安田金幸、鈴木為七、鈴木專一、鈴木寅蔵、安田清春、鈴木幸太郎、鈴木孫太郎、安田正一、安田慶雄、鈴木金五郎、安田徳蔵、菅生幸治、鈴木テイチ、安田作太郎、安田栄蔵、安田寅五郎

一千七百七十俵に対し、上位等級数が九千三百八十一俵で八十%を占め一位。以下、渋谷七十九%、中羽立七十五%、塩口七十四%、天王七十一%と続いている。

郎、三浦吉太郎

【中羽立】

菅生民雄、菅生周治郎

【細谷】

菅原鉄太郎、菅原与太

【渋谷】

渋谷市蔵、渋谷滝雄

【塩口】

桜庭象蔵、桜庭庄治郎、桜庭勇治、桜庭辰雄、石川久米治、桜庭シゲ子、桜庭兼明、石川兼五郎

【天王】

石川富蔵、安田三之助、柏崎寅蔵、沼田藤治郎、村山金治郎

【大崎】

畠山礼蔵

二氏が体験発表

稲作研究会で

町稲作集団連絡協議会(西村由蔵会長)では、会員相互の親睦と農業の発展をめざそうと、から家族ぐるみで作ったタコ、約七十枚は、飛行機タコ、ヤッコタコ、ペラボーありで、色も形もバラエティに富んだものばかり。

母さんに手をとって応援してもらったものや、あがった、あがったと歓声をあげるものなど、そこは風の子、元気いっぱいタコあげに興じていた。

また、大崎でも子どもに楽しい思い出を——と、一月三十日、地域PTAの主催で当地区の八号農道でタコあげ大会を行ない、五十人の子どもたちでにぎわった。

タコタコ

あがれ

天王で親子タコあげ大会

タコタコあがれ、天まであがれ——二月十一日、天王下町裏の広場で「親子タコあげ大会」が行なわれた。

この大会は、本郷分館と青少年健全育成東湖小学区協議会の共催で行なったもので、親子あわせて百三十人が参加した。

当日は、ほどよく風が吹き、絶好のタコあげびより。数日前



色も形もバラエティに富んだタコがあがれば



かあさん走つてケレ

「稲作集団研究会」を二月十五日、町公民館で行ない、会員六十五名が参加した。

この集會では、日頃から集団活動や日常の活動で、特に成果をあげている羽立五石会の菅生春司氏、二田農業機械利用組合

追分(野)二田新町(女)が優勝

九人制バレーボール大会

町バレーボール協会と体育協会主催の初の九人制バレーボール大会が二月二十日に天王中体育館で行なわれた。

当日は、男子七チーム、女子五チームの合わせて十二チームが参加し、熱気をはらんだ好ゲームを展開した。

各チームとも練習量の不足は目につくが、サーブ、スパイク、レシーブにと、ひたひたから汗を流してのハッスルプレイの連続。結局、男子は追分チーム、女子は二田新町が第一回目の優勝チームに輝いた。

ゲームを終了した全選手とも懸命にプレーしたという満足し

の薄田国三郎氏が——良質米を生産するための必要技術、集団組織の運営のしかた——について体験を発表。参加者たちは、農業に真剣に取り組んでいこうとする意欲を燃やしていた。

きった顔で家路についた。

当日の成績は次のとおり

【男子】

▲優勝 追分チーム ▲準優勝 江川チーム ▲三位 二田新町チーム、天王チーム

【女子】

▲優勝 二田新町チーム ▲準優勝 出戸新町チーム ▲三位 天王チーム、混成チーム

実子でなくても受けられる

児童手当制度

ことしの一月から発足した児童手当制度は、十八歳未満の児童を三人以上養育しており、そのうちの一人以上が五歳未満の児童であれば核当しますが、実子でなくても三人以上養育し、生計を同一にしている人であれば核当することになっています。

父母がともに死亡し、孫を養育しているか、あるいは、自分の子と他人の子とあわせて三人以上の児童を養育している場合は、早めに役場民生係まで申し出てください。

児童手当の月額額は、三人以上の児童のうち、出生順に数えて三人目以降の児童で義務教育終了前(当初は五歳未満)のもの一人につき三千円です。

卒業式と入学式

卒業、卒園、修了式

- 三月十五日 天王中
- 三月十六日 出戸小、出戸幼
- 三月十七日 天王小、追分小
- 三月十八日 天王幼
- 三月二十二日 穂丈谷地保育所
- 三月二十三日 大崎保育所
- 三月二十四日 天王町保育所
- 四月一日 全小学校、出戸幼
- 四月四日 天王中
- 四月五日 天王幼
- 四月六日 穂丈谷地保育所
- 四月七日 大崎保育所
- 四月八日 天王町保育所

入学、入園、入所式

日本医師会から

助成金

日本医師会では、二月十六日付けで、本町の健康生活推進委員会に二十万円を助成した。

これは、地域社会活動の活発な、しかも成果をあげている市町村に対して助成したものである。

同会では、委員会の活動と東湖小学校の保健活動の内容を医師会に報告。その実績が認められたもので、本町ではもちろん、県内でも初めてのものです。

この助成金を有意義に使用しようと、統計表の作成、衛生カレンダーなどの全戸配布を考慮しており、同会のさらに活発な活動が期待される。

三部門で養豚共進会

町養豚研究会主催の第三回目の養豚共進会が、二月十日に二十七頭が参加して行なわれた。

審査には、男鹿善及所員、経済連の指導員、農協指導員があたり、豚舎を巡回して未経産の部、経産の部、雄の部の各部門ごとの入賞者を決めた。

入賞者は次のとおり

繁殖豚(未経産の部)

▲優勝 大関春雄(二田)

▲準優勝 高橋新一郎(塩口)

▲三位 石川兼五郎(塩口)

繁殖豚(経産の部)

▲優勝 高橋新一郎(二田)

▲準優勝 石川兼五郎(塩口)

▲三位 鈴木為治(羽立)

雄の部

▲優勝 大関秀一(二田)

▲準優勝 菊地政蔵(上出戸)

▲三位 佐々木幸吉(下出戸)

